

## 公開件名概要

### 1. 公開件名

新信濃飛騨信濃FC調相多頻度開閉対策工事に伴う機器基礎設計業務委託

### 2. 業務期間（予定）

2026年3月23日（月）～2027年4月14日（水）

### 3. 業務概要

#### （1）業務目的

新信濃飛騨信濃 FC 調相多頻度開閉対策工事の実施にあたり、機器基礎等の形式・構造詳細を検討し、工事に必要な図面・数量等を得ることを目的とする。

#### （2）委託項目

##### ①設計協議

本業務にあたり、業務の実施状況確認ならびに、疑義事項解明のため、打合せを行う。また、業務完了前に設計の結果を発注者に報告する。なお、それぞれ打合せ議事録を作成し提出する。

##### ②設計条件整備

設計条件整備は、今回の設計で用いる以下の諸条件を整備し、設計方針を策定するものとする。

- ・地形・地質概要
- ・設計条件（荷重条件、土質条件）
- ・設計方針

##### ③基盤入力地震動評価

変電所近傍の震源モデルの更新状況を調査し、既往の震源モデルから変更されている場合は、新たに基盤入力地震動の評価を行うものとする。

##### ④地震応答解析

地震応答解析は、後続の設計検討を実施するために必要な設計水平震度を得るために、地盤の一次元等価線形解析ならびにS R モデル解析を実施する。

##### ⑤基礎形式検討

基礎形式検討は、基礎の基本形状検討のために、以下の検討を実施する。

- ・地盤支持力検討
- ・基礎の安定照査
- ・支持層検討
- ・工法検討

##### ⑥基礎構造詳細検討

基礎構造詳細検討は、基礎の構造・配筋を決定するために、各種荷重条件に対し、構造照査ならびに構造配筋標準の検討を実施する。

各部材の構造照査は限界状態設計法により、照査を行うことを基本とする。

##### ⑦図面作成

図面作成は、設計・検討で得られた構造ならびに配筋について、構造図ならびに配筋図（鉄筋加工図、鉄筋表共）をAutoCADにて作成し、その図面に基づき数量の計算を実施する。図面の縮尺は、構造図・配筋図ともに1／50あるいは1／100を標準とする。

#### ⑧総括

本委託検討の検討条件ならびに検討結果、提案内容を簡潔にとりまとめた総括資料を作成のうえ、報告書をとりまとめるものとする。

報告書は、総括編と電算出力リスト（内容を示す凡例あるいは説明文を記載する）に分けるものとする。

作成は、ワード・エクセル・AutoCAD等で作成することを原則とするが、処理能力の優れたソフトの使用を制限するものではない。電子情報については、報告書巻末にCD-Rなどの電子媒体を添付するものとする。添付する電子情報はpdf等の文書統合データの他、今回の委託検討に用いた電子情報を、受託者の知的財産に抵触しない範囲で極力添付することとする。

#### 4. 準拠規格・基準

- ・原則として『基幹系屋外変電所基礎構造物設計標準 2025年9月（第7回改定）』に基づき実施するものとする。

以上